

画像処理 外観検査システム iVision

【お打ち合わせ～お見積り提出まで】

株式会社エーディーディー

お打ち合わせ～お見積り提出までの流れ

①お打ち合わせ

検査内容・仕様の確認をさせて頂き、検証サンプルをお預かりします。

②検証（無料）

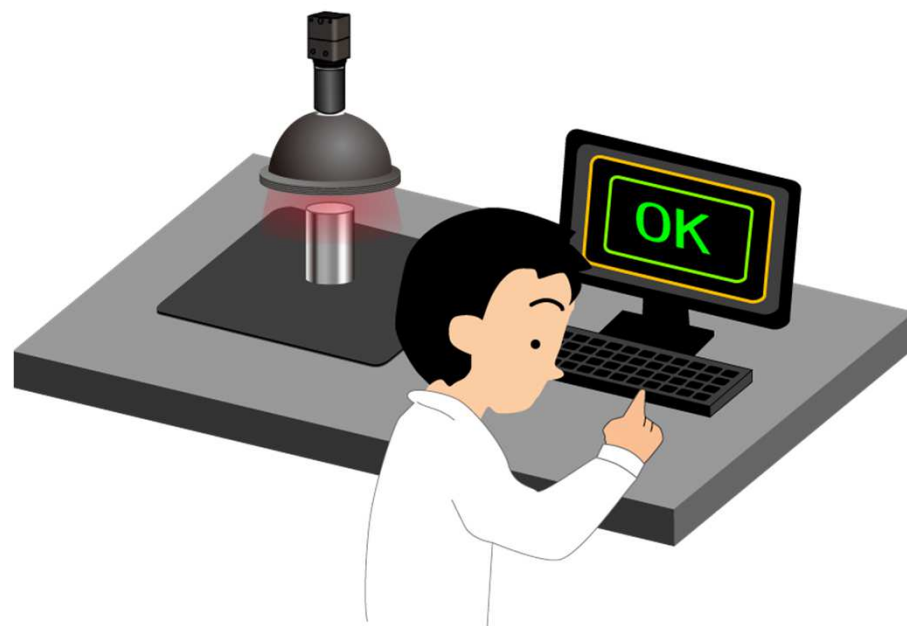
弊社にて検証を行い、検証レポートを提出します。

③お見積り（無料）

ご希望の導入パターンに合わせた、お見積りを提出させて頂きます。

サンプルのお預かり (①) ・ 検証 (②)

検査をご希望されているワークをお預かりし、どのような方法で検査が可能かを検証します。



検証レポート (②) ・ お見積り (③)

サンプルの検証後、レポートとお見積りを作成・提示させていただきます。

■検証レポート

検証結果についてレポートを作成、提出させていただきます。

■見積もり

検証結果から検査に必要な環境を想定し、導入パターンにあわせてお見積りを作成、提出させていただきます。

※「導入パターン」について、次にご紹介します。

導入パターンについて

導入パターンは下記4種類に大別されます。

①検査装置製作

検査装置を製作して検査を行います。

②生産ライン（インライン検査）

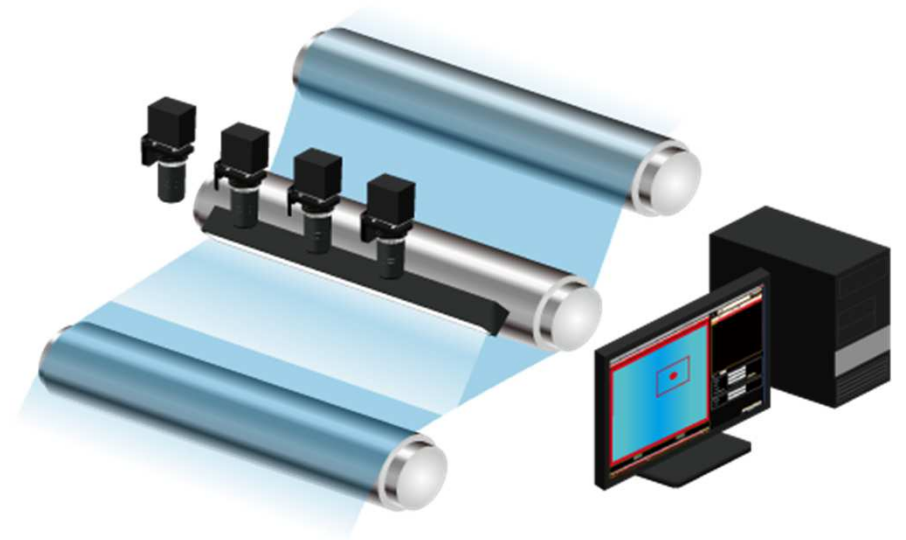
生産ライン上で検査を行います。

③手置き検査（手動）

ワークを手で置き、検査を行います。

④卓上検査（自動）

卓上検査装置を使用して検査を行います。



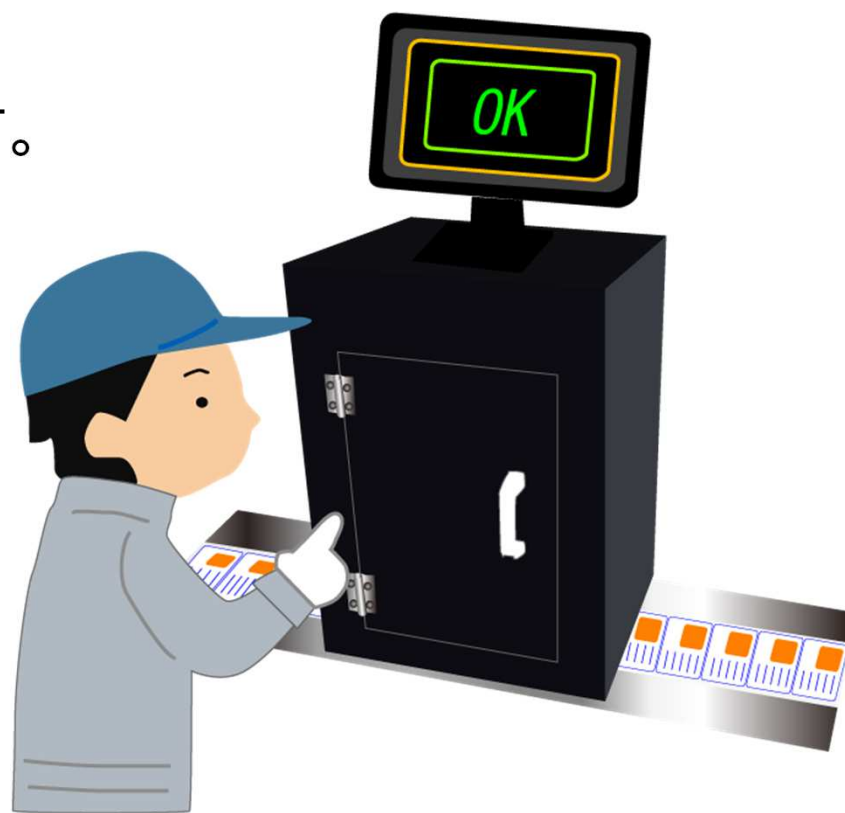
①検査装置製作

検査装置を製作して検査を行います。

ワークを自動で搬送し、必要な検査環境を使用して検査を行います。

装置にワークを投入すれば、自動的に良品、不良品に仕分けることができます。

投入方法や排出方法等、詳細についてはお打ち合わせをさせて頂き、決定します。



②生産ライン（インライン検査）

生産ライン上で検査を行います。

お客様の生産ライン上に、カメラや照明を取り付け、搬送中に検査を行います。不良品を検出した際には、検査システムから信号を出力することや、排出装置を製作すること等、お客様にあわせた対応が可能です。

ご使用されている生産ラインに後付けできるシステムとなります。

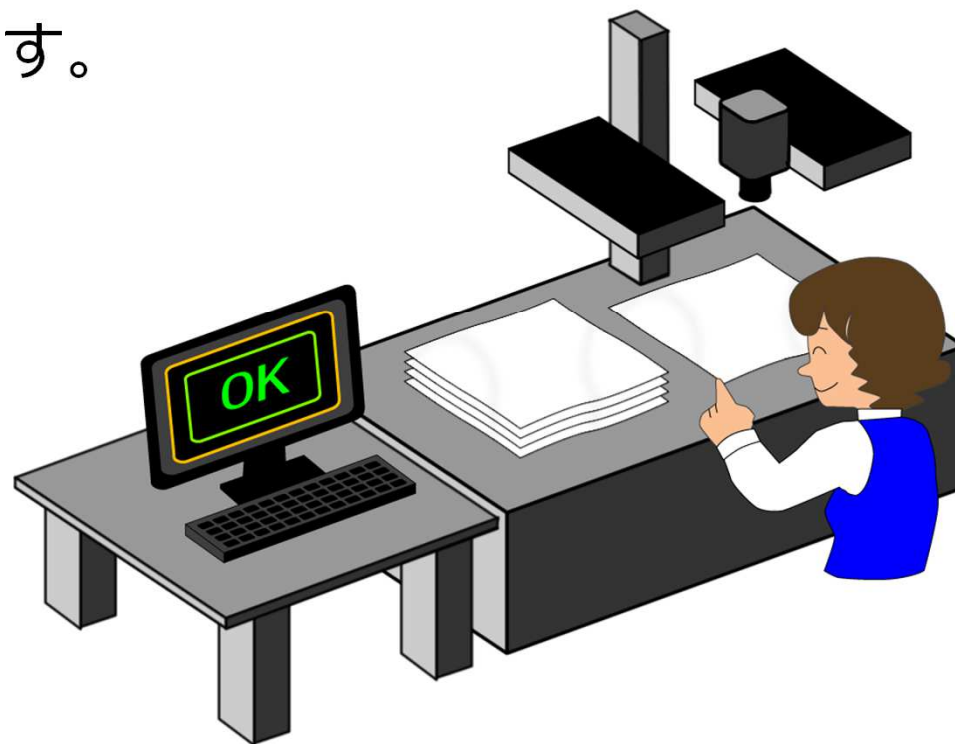


③手置き検査（手動）

ワークを手で置き、検査を行います。

用意した検査場所にワークを置いて頂き、検査開始ボタンを押すことで、モニタに検査結果を表示します。

生産ラインが無い場合や、生産ラインでは検査が難しい場合に、簡易に検査を行うことができるシステムです。



④卓上検査（自動）

卓上検査機を使用して検査を行います。

卓上検査装置という縦、横、高さ方向に可動するロボットを使用します。

検査開始ボタンを押すことで、事前に設定したとおりに動き、複数回の検査を行うことができます。

トレイに入った製品を1つずつ検査するよう
な場合には特に有効なシステムです。
その他、分割して撮像、検査する場合にも
有効です。

